

3. 50mA電流計を使用できる増幅器の製作

前記の増幅回路は、その出力端子に、マイクロアンメーターか、テスターの1~5mAレンジを接続して使用するのに適している。

そこで、ここでは理振規格の50mAの電流計が駆動できるように工夫してみたい。

そのためには、図3のように、前記の増幅回路にトランジスタを1こ付け加えて電流を増幅してやればよい。

図 3

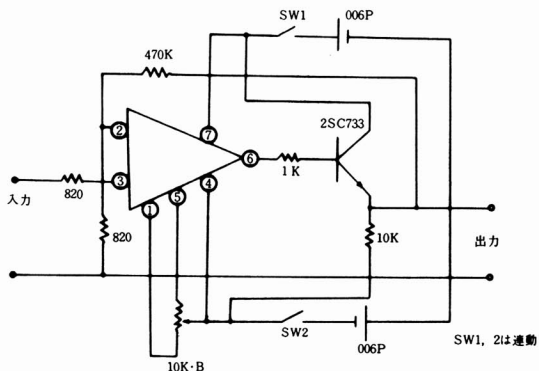
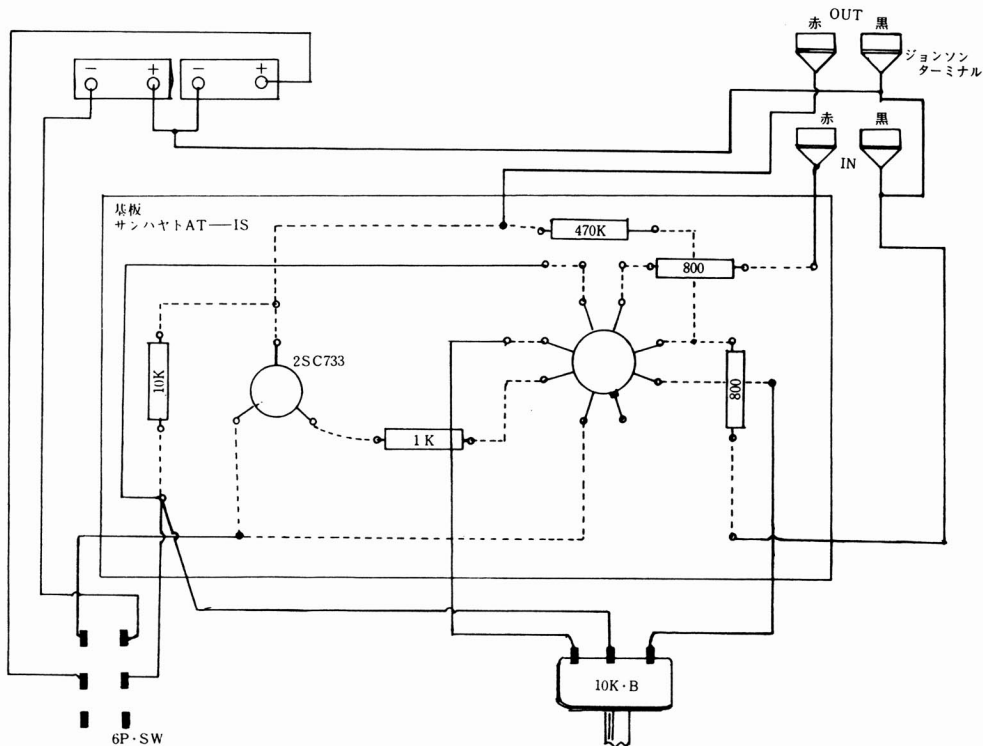


図 4



上の図4は、本器の実態配線図を示している。

- (1) ケースは、10cm×13cm×6cm程度の大きさが適当である。リード・PS-2がよい。
- (2) 図の中の点線は、基板裏面の配線の様子を示している。
- (3) 基板は、サンハヤト AT-1Sを半分にして使って充分である。

- (4) OPアンプのピン・ナンバーは、右の図5の通り。
- (5) トランジスタのピン使用については、次の図6に示す。

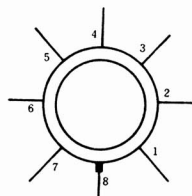


図5 OPアンプ741の上から見た図